

社会資本整備審議会道路分科会 第4回東北・北陸地方合同小委員会

【議事概要】

1. 日 時

平成27年3月20日(金) 13:30～15:00

2. 場 所

仙台パークビル 2F ホール2会議室(TKPガーデンシティ仙台)

3. 出席者

委員長

大滝 精一 東北大学大学院 経済学研究科 教授

東北委員

大泉 太由子 (公財)東北活性化研究センター

調査研究部 専任部長兼主席研究員

佐藤 淑子 公益社団法人 青森県観光連盟 専務理事

浜岡 秀勝 秋田大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授

渡辺 泰宏 (一社)東北経済連合会 専務理事

北陸委員

石黒 厚子 (一財)北陸経済研究所 地域開発調査部 主任研究員

大川 秀雄 放送大学 新潟学習センター 客員教授

4. 議事内容

審議結果

- ・新潟山形南部連絡道路(関川～小国)の計画段階評価について、審議の結果、委員からの意見を事務局で検討の上、意見聴取を進めることでした承された。

主な意見

- ・東日本大震災後は、日本海側から太平洋側への物資輸送や、代替路としての機能を担った重要な路線であるため、整備に向けて着実に手続きを進めてほしい。
- ・東北圏広域地方計画では新潟県も含む7県での計画を進めているため、山形・新潟両県の交流や県庁所在地間の移動を考えた際、このエリアを繋ぐ事は非常に重要である。

- ・ 大型車混入率が35%と極めて高い数値であることから、災害等で通行止めとなった場合は、広範囲に影響が生じるため、物流面からも重要な路線であると認識される。また大型車の通行が多い路線にもかかわらず、通学路にもなっているため、歩行者の安全にも配慮する必要がある。
- ・ 当該地域は冬期の気象条件が厳しいことから、地吹雪等の課題に対し維持管理の面からも対策を講じるよう配慮して欲しい。
- ・ 地方部の道路整備に当たっては、全区間整備による整備効果と併せ、部分的な開通効果も明確にし、整備の必要性を理解してもらう事が重要。
- ・ アンケートの設問や単語について専門用語を用いる際は、一般にも容易に理解し得るよう、平易な言葉に言い換えるか補足説明を加えること。
- ・ 企業等へのヒアリングに当たっては、当該区間の利用実態及び現状の問題点等が把握できるよう意識すること。
- ・ アンケート設問4は、今回の対象区間に対するものなのか、道路全体に関する一般論で記入するのかがわかりづらいため、書き方を工夫した方が良い。